

【概況】 8 月 19 日に行ったプランクトン調査(燧灘)の結果についてお知らせします。

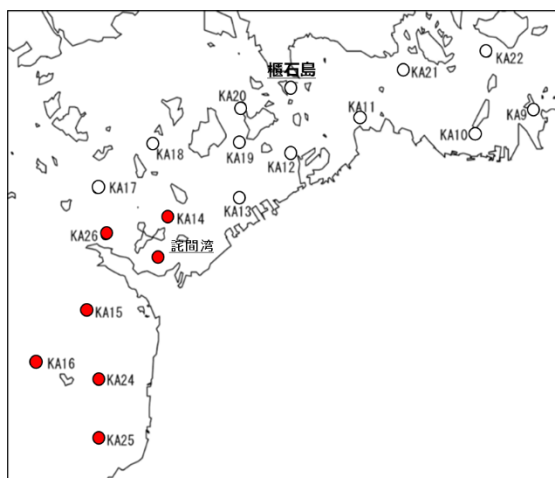
- ・魚毒性を示す有害プランクトンは確認されませんでした。
- ・小型珪藻類は、キートセロス属が優占しています(最高 61 細胞/mL)。
- ・燧灘沖合の表層水温は約 24~25°C、塩分は 30~31 の範囲で推移しています。
- ・燧灘沖合の溶存酸素(DO)は表層で約 5~6 mg/L、底層で 1~3 mg/L の範囲で推移しています。

表 : 2021 年 8 月 19 日有害プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ (区分不能)	カレニア・ミキモイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	シャットネラ・グロボーサ
KA14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
詫間湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0

\* 細胞密度は、3 回計数した平均値を記載しています(ただし、シャットネラ・グロボーサについては計数 1 回です)。

図 : 調査定点(備讃瀬戸・燧灘)



【参考】 香川県の有害プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
ココロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL

\* 赤潮定期調査(燧灘)は合計 7 定点 (KA14、15、16、24~26、詫間湾)で行っています。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471